

命と心を 育む社会を目指して

佐賀県議会議員

下田ひろし県政報告

発行

佐賀県議会議員 下田 寛

〒841-0026

佐賀県鳥栖市本鳥栖町 1542

TEL090-4994-8312 E-mail:hiroshi_shimoda_bmse13@yahoo.co.jp



下田ひろし HP

vol.18

2024年 春号

鳥栖市中央公園

令和6年2月定例議会

地域交流・県土整備常任委員会

多文化共生について

佐賀県の、コロナ禍後の在住外国人の伸び率は 11% で全国一とのこと。また、技能実習制度が発展的に見直されることで、人手不足分野における人材確保と人材育成を目的とする育成就労制度が始まります。多文化共生は、生活・医療・福祉・教育・防災・雇用など様々な分野にまたがるものであることから、会社や地域、市や町との連携が更に重要になります。



全国障害者スポーツ大会について

今年はいよいよ SAGA2024 が開催されます。今までの「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」に佐賀大会から移行することもあり注目されていますが、「全国障害者スポーツ大会」も先駆けた取り組みが始まっています。選手だけではなく伴走者へのメダル授与、ナイトゲーム開催、宿泊施設や移動手段での配慮、動画配信やベビーカーでの観戦など。これからの全国障害者スポーツ大会の新たな基本となる取り組みが始まります。

委員会質問動画
はこちらから⇒



令和6年2月定例議会

高等教育機関問題対策等特別委員会



今回は、県立大学構想の専門家チームリーダーである、山口和範氏を参考人にお招きして質疑を行いました。私からは、「これからの学生や大学に求められるもの」「都会ではなく佐賀で学ぶことの価値」「ペーパーテストだけでは評価できない学びの必要性」「小中高大の一貫した学び」「デジタルとアナログの関係」について質問しました。この議論の中で最も印象に残った山口参考人の言葉を要約すると、「県立大学そのものを県の誇りと思ってもらえるかどうか。大学自体が本当は年代を超えた場であるべき。また、県立大学のトップは知事になる知事になるのだろうか、大学人の誇りとして、知事、県議会と早期に緊張感を持った形で対話をし続けることが大切であり、最終的には県民の皆様が納得していただけるような運営にしたい。」とありました。限られた時間があっという間に過ぎる程、示唆に富んだ貴重な話をいただき、終了後もお時間をいただきご教授いただきました。佐賀県にとって少子化が進む中で高等教育のあり方は大変重要なものです。引き続き議論させていただきます。

委員会質問動画はこちらから↓



(40分～)



(1時間7分過ぎ～)

政策実現!!

昨年6月議会で取り上げた、「こども医療費の県外医療機関での現物給付化」が制度化されます。この件は、鳥栖市から、鳥栖市選出の3人の県議に対しても強く要望がありました。多くの要望事項の中、3県議で協議を行い、この件については私が質問することになりました。該当する医療機関は、久留米大学病院、聖マリア病院、福岡市立こども病院の3病院で、今年の秋以降から実施される予定です。この制度により、小学生以上も通院 500 円(月2回まで)と、入院は上限 1000 円、と佐賀県内の制度と統一されることになります。

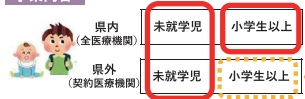
新規 子どもの医療費県外医療機関現物給付化事業費補助

こども家庭課 3,827千円

目的・背景

佐賀県国民健康保険団体連合会の現物給付化のためのシステム改修費用を補助することで、小学生以上のこどもが県外契約医療機関を受診した際の給付手続の簡素化や窓口負担の軽減を図る。

事業内容



県外契約医療機関に限る取扱

現物給付の対象を小学生以上に拡大するため、新たに国保連のシステム改修が必要

※太枠内はすでに現物給付に係るシステム対応済
※契約医療機関以外の県外医療機関は償還払い

事業期間

令和6年度(2024年度)

県議会勉強会資料より引用

活動報告写真 1月

1月3日(月) 朝日山へ



今年は悪天候のため鳥栖北地区の新春歩こう会は中止となりましたが、家族で朝日山を登り頂上で新年の挨拶をさせていただきました。

1月14日(日)

鳥栖市ロードレース大会



毎年恒例の鳥栖市ロードレース大会に来賓として参加。今年も颯爽と走る姿を応援しました。

拉致問題を考える県民の集い



唐津市で開催された県民の集いに参加。講師は、拉致被害者横田めぐみさんの弟であり、家族会代表の横田拓也さん。拉致被害者の早期帰国を改めて誓いました。

1月22日(月) 佐賀競馬の視察

今年の11月4日にJBCが開催され、全国の名馬が鳥栖に集結します。



また、地方競馬初のアイドルグループUMATENAの誕生や、競馬場の改修など話題が盛りだくさん。現在の状況についてレクチャーをいただきました。

2月13日(火) サガン鳥栖壮行会



県庁ホールにて、サガン鳥栖2024シーズン壮行会、ホームタウン激励式が開催されました。選手はもちろん、ファンも多く駆けつけ、私も激励させていただきました。今年も活躍を祈るばかり!!

2月1日(木) 教育DXの視察 2月



全国でも教育DXが進んでいると言われている久留米市立日吉小学校を視察しました。全学年が日常的にICTを使っており、先生方の事務仕事もほぼ全て電子化されており効率化されていました。

2月1日(木)

佐賀大学と県議会の意見交換会



県立大学など「佐賀の未来」をテーマに佐賀大学生と県議会議員の意見交換会を開催しました。また、テレビも入りニュースでも放送されました。会の終了後、私から教授に「ぜひ単発ではなく、政策実現する為の協議をお願いしたい」と申し入れました。

2月8日(木) 九州観光大会



九州の県議会全体の勉強会が佐賀市内で開催されました。テーマは佐賀県が「観光×ゲーム」とのコラボで実績を挙げている「ロマンシング佐賀プロジェクト」について。この事業によって、全国から「ロマサガファン」が佐賀を訪問してくれています。

2月21日(水) 鳥栖の防災座談会



かつての昭和28年の大水害(28すい)は1500人が被害に遭われた大水害です。当時の教訓を活かし、今でも被害家屋に避難用の舟を保管している方もいらっしゃいます。この日は佐賀県立博物館から取材が来られるとのことで、私も同席させていただき、地域の方々からお話を伺いました。

3月12日(火) はじまりの名護屋城

3月

委員会の視察で唐津の名護屋城周辺を訪問しました。私の世代ならかなりの人が知っているゲーム「信長の野望」とのコラボ企画。かつて豊臣秀吉はじめ全国の150の武将が集結し世界規模の20万人のまちを築いていました。「能と茶は京都か名護屋」と言われるほど文化の発展があったとのこと。歴史を「文化」という切り口で発展を見せています。



3月14日(木) 難病議員対策推進議員連盟研修会



講師に佐賀県ALS協会の中野玄三氏。私もご自宅を訪問し、ご相談させていただきました。また、私が以前議会で質問に取り上げた「重度訪問介護」についても言及がありました。

3月17日(日) 鳥栖北地区文化祭

地元鳥栖北地区の文化祭が開催され、大いに賑わいました。ご準備いただいた皆様には心から感謝申し上げます。私は来賓としてご挨拶させていただき、出品や舞台を楽しみ、町区対抗歌合戦では熱唱させていただきました。



3月17日(日)

鳥栖朝倉線(小郡鳥栖南スマートICアクセス道路) 開通式



小郡鳥栖南スマートICの開通式典が開催されました。雨天でしたが、鳥栖からは地元、菅根崎の獅子舞が披露されました。新たな産業団地((仮)サザン鳥栖クロスパーク)の開発も含めて、交通の利便性が更に高まります。

3月30日(土) 本鳥栖町お花見

久しぶりに開催の本鳥栖町のお花見。まだ満開ではありませんでしたが、地域の皆さんとゆっくりお話ししながら、桜を愛でる和やかな時間を過ごさせていただきました。



3月31日(日) 佐賀東部クリーンエコランド竣工式



県内東部のごみを焼却する施設の竣工式が行われました。1日に最大172トンのゴミが処理できます。また、研修・見学設備も充実しており、式典後に見学させていただきました。

3月31日(日) 第37回とす弥生まつり

毎年恒例のとす弥生まつり。ステージや出店をはじめ、来場者も多く、公園内至る所で桜を愛でながら、ご家族やご友人達と楽しめる姿が溢れていました。こういう幸せな時間が尊いですね。ご準備いただいた皆様、ありがとうございました。



あとがき

県議会は年間4回開催されます。大切にしている議論の一つに、鳥栖市選出の指山議員、中村議員と私の政党・会派が異なる3人で鳥栖市の案件を議論する時間です。3人とも鳥栖市の様々な方々から、色々な角度の相談・要望をいただきます。これらを整理して、この議会で誰がどの項目を、こういった角度で質問するかを議論します。また、時には同時に複数人で質問に立ちます。まさに、住民・市・県、時には国も巻き込んだ政治の醍醐味を感じる時間でもあります。こういった活動も、多くの人に知ってもらいたいと願います。

登録
お願
いし
ます



<https://lin.ee/opcwmAn>

【討議資料】

